



H30.4.19 院長講和「平成29年度の振り返りと平成30年度の目標」のあとに。
総数149枚のスライド発表で職員を鼓舞しました。

平成30年度がスタートしました。

昨年度を振り返りますと、入院患者数は、前年度に比べ減少して、目標にしていた病床稼働率70%を達成することが出来ませんでした(図1)。本年度の最重要目標は入院患者の増加です。医療ニーズの高い方を対象に、社会的な理由による短期入院(レスパイト入院)の運用を導入します。受け入れ窓口は連携室になりますので、お問合せください。一方、入院患者の平均年齢は82歳と過去最高で、それを反映して、平均在院日数が延びました。介護予防に向けた行政との連携、介護施設やケアマネジャーさんとの連携を密にして、町全体の包括ケアシステムの向上を図ることが重要と考えています。お陰様で町内外との連携は活発に行われました。連携先の施設のご協力により心から感謝いたします(図2a、2b)。

過去2年間、医科医師2名体制でしたが、4月から浅尾和彦医師が赴任して、待望の3名体制となりました。認知症や精神疾患、心療内科疾患の対応については是非とも専門性を活かしてほしいと考えています。

本年度のさわうち病院のスタッフは委託職員を含め92名と最多です。オール西和賀・さわうち体制で、連携を主軸に置いて高齢の町の健康を、守ろうと考えております。今年度も宜しくお願いいたします。

新年度を迎えてのご挨拶

院長 北村 道彦

図1

さわうち病院 入院医事

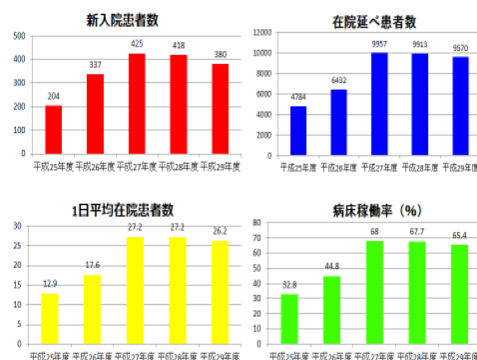


図2a

平成25—29年度 さわうち病院 入院の内訳

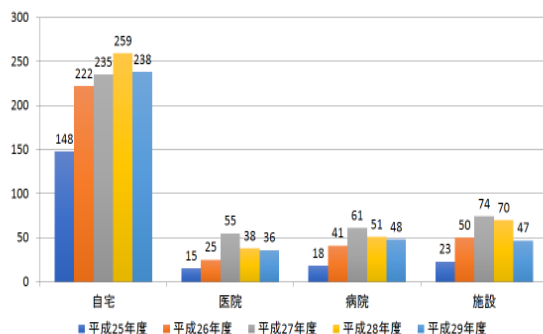
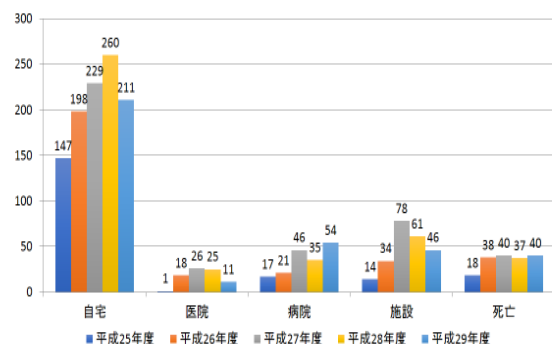


図2b

平成25—29年度 さわうち病院 退院の内訳



toyohiro1410@town.nishiwaga.lg.jp